

■ = 自主財源 (自主的に収入できる財源) 40.0%
 ■ = 依存財源 (国や県から交付される財源など) 60.0%

市税の内訳 (当初予算)

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	増減額
個人市民税	103.5 億円	105.7 億円	2.2 億円
法人市民税	20.2 億円	21.2 億円	1.0 億円
固定資産税	117.1 億円	118.2 億円	1.1 億円
その他	44.2 億円	44.9 億円	0.7 億円
合計	285.0 億円	290.0 億円	5.0 億円

歳入

平成 29 年度は、市税において、景気動向から個人住民税や法人市民税の増、家屋の新・増築などに伴う固定資産税の増などを見込み、前年度比 1.8%、5.0 億円増の 290 億円となりました。

地方債

市債 (借入金) 発行額 (82.0 億円) から元金償還金 (100.9 億円) を差し引いたプライマリーバランスは 19.0 億円の黒字となりました。市債の年度末残高はその分だけ減少することになります。

させばさん家の家計簿

下の表は平成 29 年度一般会計当初予算を 1 年間の支出が 500 万円 (月 42 万円) の家計に見立てた家計簿です。基本給より諸手当が多く、諸手当や親からの仕送りに依存した家計になっています。節約努力と諸手当の上積み (合併算定替え) などにより、ここ数年はわずかに貯金が増え、借金は減るという傾向にあります。一方、諸手当や親からの仕送りに対する依存度は年々増してきており、事情により諸

手当が見直されたり、無理をして仕送りを行っている親の生活が行き詰まれば、我が家の家計も急激に傾くことが心配されます。大幅に基本給が上がることは、残念ながら期待できませんので、日々の儉約により支出を抑え、使うべきところにはしっかりお金を使っていくことで、家族を守り、将来に希望を持った生活が送られるように努めていきたいと思ひます。

歳入			歳出		
給料・基本給	(市税)	10.4 万円	生活費		28.5 万円
給料・諸手当	(地方交付税など)	11.0 万円	食費	(人件費)	6.0 万円
パート収入	(使用料など)	4.6 万円	医療費	(扶助費)	11.1 万円
親からの仕送り	(国・県補助金など)	11.0 万円	光熱水など雑費	(物件費、補助費)	7.5 万円
借金	(市債)	2.9 万円	車などの修理代	(維持補修費)	0.5 万円
貯金取り崩し	(基金繰入金)	1.8 万円	教育費	(教育費)	3.4 万円
繰越金	(繰越金)	0.0 万円	子どもへの仕送り	(他会計への繰出金)	3.7 万円
			借金の返済	(公債費)	3.9 万円
			家や庭の建築、改修	(公共事業など)	3.3 万円
			貸付など	(貸付金など)	1.6 万円
			貯金	(積立金)	1.0 万円
合計 42.0 万円			合計 42.0 万円		
※貯金残高 89.8 万円			※借金残高 418.7 万円		

※それぞれの数値を四捨五入しているため合計と一致しない場合があります。

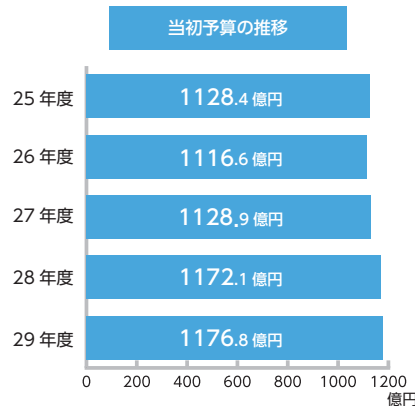
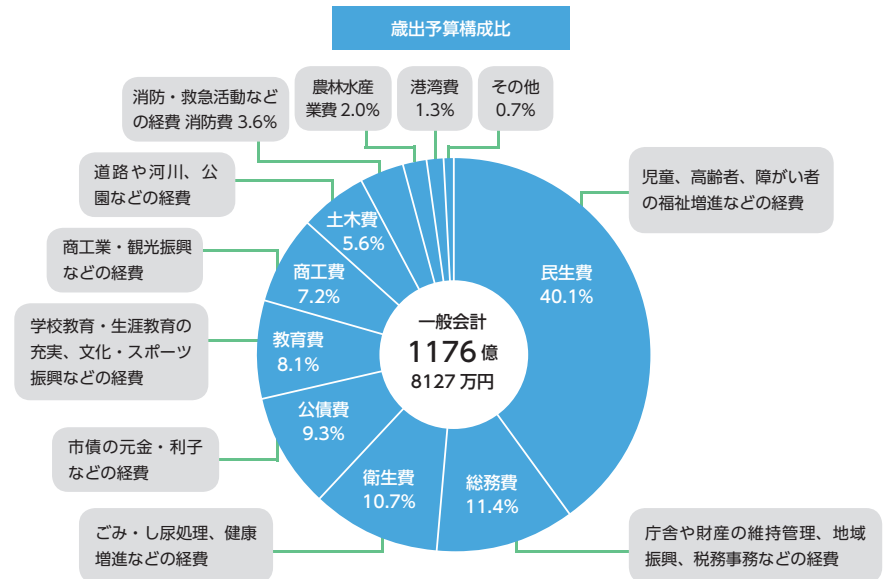
平成 29 年度当初予算
させば新時代へ投資する予算

平成 29 年度当初予算における一般会計は 1176 億 8127 万円で、社会保障関係費の増やリーディングプロジェクトにある大型客船対応基盤整備等の普通建設事業費の増などにより、前年度当初予算に比べ 0.4% (4.7 億円) の増となり、過去最大を更新しました。

新年度当初予算の特徴としては、「8つのリーディングプロジェクト」に関連する 15 事業に 13 億 6767 万円を計上し、人を呼び込むための取り組みを強化するとともに、地方創生の取り組みとして、「佐世保まち・

ひと・しごと創生総合戦略」に関連する新規・拡充事業など、43 事業、8 億 6666 万円を計上し、地方創生の実現に向けた環境の整備に努めていくこととしています。

さらに、地域の緊急課題、懸案事項等への対応や地域の元気づくり、財政健全化のための特別枠を設け、当初予算では 6 億 4323 万円を計上しています。また、道路や公共施設改修などの生活関連事業については課題懸案分も含め 32 億 809 万円を計上しています。



- 主な増減理由
- 1 扶助費の増 11.8 億円
障がい者自立支援費、私立保育所等・私立幼稚園等運営事業費の増など
 - 2 普通建設事業費の増 11.5 億円
相浦地区複合施設整備事業費、保育所等施設整備事業費、大型客船対応基盤整備事業費の増など
 - 3 補助費等の減 △ 14.8 億円
総合医療センター運営費、年金生活者等臨時福祉給付金の減など
 - 4 公債費の減 △ 4.2 億円
償還元金、利子の減

主な事業トピックス

移住サポートプラザ整備事業 1420万円

本庁舎に設置していた「させば移住サポートデスク」を「させば移住サポートプラザ」として新みなとターミナル（新港町）に移転し、移住に関する業務を拡充して行います（本年7月供用開始予定）。☎させば移住サポートプラザ ☎25-9251

テレワーク助成事業 100万円

出産や育児、介護等で通勤等を伴う就労が困難な方への就労意欲の向上を目的として、ICT（情報通信技術）を活用した在宅就労支援事業者を対象に補助（補助率1/3）を行います。☎商工産課 ☎24-1111

子育て世代包括支援センター事業、妊娠・出産包括支援事業 1878万円

妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を行うための相談窓口「ままんちさせば」を設け、産前産後サポートなどを行います。☎子ども保健課 ☎24-1111



保育所等施設整備事業 5億4000万円

児童の受け皿確保のため、市中心部に定員100人の保育所等を新設するとともに、3カ所の既存保育所の定員増を図ります。



☎子ども支援課 ☎24-1111

魅力ある個店グループ創出支援事業 150万円

商店街の活性化を目的として、3者以上で組織される個店グループが行う情報発信やリノベーションなどの事業に対し、補助（補助率1/2）を行います。

☎商工産課 ☎24-1111

町内会活動活性化推進事業 8375万円

現在までに19地区で地区自治協議会が設立されたため、残り8地区での設立を支援します。また、地域コミュニティの活性化に関する条例の検討も進めます。☎コミュニティ・協働推進課 ☎24-1111



介護予防・日常生活支援 総合事業 4億5781万円

介護保険特別会計において、介護予防の取り組み・生活支援サービスを地域住民が参画した形で進めていきます。地域の支え合いなどの体制をつくり、要支援者等に効果的・効率的な支援を行います。

☎長寿社会課 ☎24-1111

茶振興対策事業 383万円

本市をメイン会場として「全国お茶まつり長崎大会」（11月11日～12日）を開催します。3万人以上の集客を目標としています。



☎農業畜産課 ☎24-1111

吉井地区複合施設整備事業 8億7020万円

吉井地区公民館、支所、福井洞窟ガイダンス施設（仮称）機能を有する複合施設の整備を行います。公民館・支所は31年度供用開始予定、ガイダンス施設は32年度供用開始予定です。

☎社会教育課 ☎24-1111

小・中学校施設維持改修事業 （トイレ洋式化）4億530万円

現在の小・中学校のトイレ洋式化率25%を2年間で40%になるように整備を進めます。本年度は小学校140基、中学校60基を整備します。



☎教育委員会総務課 ☎24-1111

相浦地区複合施設整備事業 10億7300万円

相浦地区の拠点づくりのため、相浦地区公民館、ホール、支所などの複合施設と公園の整備を行います。30年5月供用開始予定です。

☎社会教育課 ☎24-1111



完成イメージ図

人を呼び込むための取り組みを強化 8つのリーディングプロジェクト

1クルーズ船入港体制整備 4億6000万円

○大型客船対応基盤整備事業 2億4900万円
三浦岸壁における16万トン級までの大型クルーズ客船受け入れのため岸壁を延伸します（平成30年7月供用開始予定）
○佐世保港国際クルーズ拠点形成事業 2億1100万円
「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定されたことを受け、浦頭地区における港湾施設を整備します（平成32年供用開始予定）

2俵ヶ浦半島開発 2597万円

○政策企画調整事業 710万円
つくも苑跡地における都市公園の整備と併せて設置するレストラン機能等の収益部分についての適正規模や民間との役割分担等について検討します
○地方創生推進事業 1887万円
俵ヶ浦半島における住民主体のエリアマネジメント事業の実現に向けた支援を行います

3九十九島認知度向上 1億1130万円

○九十九島PR事業 1億円
全国に向けた広報PR、ハウステンボスと連携した広告展開・情報発信、エージェントタイアップ事業
○世界で最も美しい九十九島湾クラブ推進事業 1130万円
加盟審査会での加入事前審査（4～9月）、湾クラブ総会（フランス大会）での加盟審査のためのプレゼンテーション（9月）など

4名切地区再整備 537万円

○政策企画調整事業 537万円
名切地区のリニューアルにかかるPFI事業（民間の資金や経営手法・

技術力を活用して公共施設等の社会資本を整備すること）等の公募に向けた技術的支援を行います

5英語が話せるまち 佐世保 1599万円

○国際理解・交流能力育成事業（学校教育で子どもたちに行う教育事業） 741万円
○学社融合推進事業（放課後の学習支援を行う事業） 305万円
○英語シャワー事業（市民が英語や外国文化に親しみ、学びを深められる環境づくり事業） 513万円 など

6基地との共存共生 5532万円

○前畑崎辺道路整備事業（調査、測量、設計） 5532万円
崎辺地区における水陸両用車部隊の配置計画や海上自衛隊の利活用構想による通行車両の増加が見込まれる中、大黒・天神地区の既存道路の交通環境改善のため、本市中心部と崎辺地区を直結する基幹道路（前畑崎辺道路）の整備を行います。事業期間は平成29年度から35年度、延長は約2,700mの予定です。

7統合型リゾート（IR）誘致 453万円

○統合型リゾート誘致推進事業 453万円
昨年末、IR推進法が成立し、現在、国により依存症のリスク対策等を含むIRの合法化に向けた制度設計が進められています。本市では、国によって十分なリスク対策が示されることを前提として、ハウステンボスとの協議を整え、これまでの取り組みをより一層加速させていきます。

8企業立地・新工業団地整備 6億8919万円

○企業誘致活動事業 1127万円
市長、副市長のトップセールスや企業訪問による情報収集及び誘致活動経費など
○企業立地奨励事業 4億5175万円
○市営工業団地整備事業（相浦地区） 2億2617万円
新規工業団地の設計・測量・調査・用地取得

市営工業団地（相浦地区）完成イメージ図

